

クラス	TU310	担当教員	齋藤一晴
テーマ	歴史学（日本近現代史がメインです）・歴史教育・社会科教育・平和学・地域研究中国		
著書・論文	「21世紀の覇権国家として歩む中国」・「世界と日本をむすぶ近現代史とは（3）東アジア（日中韓）の歴史教育」歴史教育者協議会編集『世界と日本をむすぶ「歴史総合」の授業』大月書店、2020		
研究課題等	「日中授業交流を通じて平和とは何かを考える ー歴史教育者協議会・日中交流委員会の活動を事例としてー」『平和創造学への道案内 歴史と現場から未来を拓く』法律文化社、2021		
ゼミナール概要			
キーワード：多国間共同歴史教材・国境を越えた授業交流・日本の戦争、植民地支配・歴史認識・歴史対話			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>6期生を募集します。これまでは、歴史学や歴史教育、社会科教育だけでなく、教育学全般に興味がある学生も広く募集してきました。そのため、ゼミでは、校則やいじめ、制服とジェンダーといったテーマも扱ってきました。しかし、今回募集する学生には、以下を求めたいと思います。ゼミを大きく変えていきます。ゼミを大学生活の基本にすえられる方を募集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 卒業論文を歴史学や歴史教育、社会科教育、地域研究中国に関わって執筆することを志す方 2 歴史学や歴史教育、社会科教育の研究史や実践史、最先端の研究成果に興味がある方 3 知多半島と戦争、産業、教育などの地域からみた歴史を調査、執筆し、出版することをめざします。それに参加できる方。 4 文献を読むことや議論、班活動、班発表などが苦にならない方 5 ゼミを希望する方は、エントリーの前に必ず面談をして下さい。その際、ゼミで深めたいテーマとその理由について話してもらいます。 6 高校までの社会科の試験の点数や大学のGPA、知識量などは問いません。教員志望でない方も受け入れます。 <p>本を読むことやレポートを書くことが嫌いな方は、ゼミには向かないと思います。これまで行ってきたフィールドワークは、大学周辺、知多半島、名古屋、京都、広島、ソウル、晋州（韓国）、上海、南京などです。自由参加になります。懇親会は、全員参加が原則です。</p> <p>3年生は文献や論文を輪読します。また、テーマを決めて班活動を行い、班発表をします。4年生は1年間かけて卒業論文を作成します。人数にもよりますが、だいたい隔週で卒論のために読んだ文献や論文の内容を報告してもらいます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>私の専門は、日本が行った戦争や植民地支配、戦場を知らない世代が、そうした歴史に向き合うためにどのような教材、授業が必要なのか、というものです。具体的には、日中韓共同の歴史教材を作成したり、日中や日韓の授業交流を通して、戦争非体験世代が世代や国境を越えて学び合う空間や経験を創ったりすることを試みています。</p> <p>上記以外には、日本軍が日中戦争の際に行った偽札作戦（通貨戦争）を研究しています。偽札作戦は、直接、人を傷つけたりしませんが、生活を破壊し、たとえ戦争が終わっても相手国の生活や子どもたちの教育の機会、そして未来を壊し続けます。日本軍が日中戦争で行った偽札作戦を明らかにすることは、戦争の本質を学ぶうえで大切なことだと考えています。</p> <p>私の研究フィールドは中国です。よって、中国の高校生や大学生とゼミ生とが歴史認識をめぐって交流できる機会を創ればと考えています。直接、中国に行くか、Zoomなど遠隔になるかはコロナの状況によります。中国語はできなくてOKです。できれば、なおいいですが。</p> <p>ゼミでは、教採対策に関わる面接練習や問題練習は一切行いません。上記のゼミナール概要を読んで、2年間、ゼミの仲間と学び合うことを希望する学生が集うことを期待しています。</p>			